
序文 <プロジェクトの総括と展望>

アジア仏教文化研究センター第2期研究プロジェクトをふりかえって

龍谷大学アジア仏教文化研究センター（BARC）は、2015年度より2019年度にわたり、文部科学省が進める私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された研究プロジェクト「日本仏教の通時的共時的研究—多文化共生社会における課題と展望—」を推進してまいりました。

最終年度にあたる2019年度は、複数の研究叢書・講演会シリーズ本が刊行されるなど、総轄の年となりました。そこで、以下に過去5年間の全業績を一括して掲載いたします。

研究叢書

【2015年度】叢書1『資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流 第I期—汎太平洋仏教青年会大会関係資料—』（全2巻）中西直樹・林行夫・吉永進一・大澤広嗣編，不二出版，2016年2月。

【2016年度】叢書2『資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流 第II期—南方部仏教圏との交流—』（全3巻）中西直樹・林行夫・吉永進一・大澤広嗣編，不二出版，2016年10月。

【2017年度】叢書3『仏教英書伝道のあけぼの』中西直樹・嵩満也・那須英勝編，法蔵館，2018年1月。叢書4『資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流 第III期—中国と仏教との提携—』（全2巻）中西直樹・林行夫・吉永進一・大澤広嗣編，不二出版，2018年2月。叢書5『資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流 第IV期—日本仏教青年会連盟機関誌『青年仏徒』—』（全2巻）中西直樹・林行夫・吉永進一・大澤広嗣編，不二出版，2018年2月。叢書6『南都学北嶺学の世界—法会と仏道—』楠淳澄編，法蔵館，2018年3月

【2018年度】叢書7『藏俊撰『仏性論文集』の研究』楠淳澄・船田淳一編，法蔵館，2019年2月。叢書8『現代日本の仏教と女性—多文化共生社会における課題と展望—』那須英勝・本多彩・碧海寿広編，法蔵館，2019年3月。叢書9『資料集・戦時下「日本仏教」の国際交流 第V期—チベット仏教との連携—』中西直樹・林行夫・吉永進一・大澤広嗣編，不二出版，2019年3月。

【2019年度】叢書10『『欧米之仏教』復刻版—大谷派改革運動と神智学—』中西直樹・川口淳編，三人社，2019年11月。叢書11『論集 戦時下「日本仏教」の国際交流』中西直樹・大澤広嗣編，不二出版，2019年12月。叢書12『日本仏教と西洋世界』嵩満也・吉永進一・碧海寿広編，法蔵館，2020年1月。叢書13『日本仏教と論義』楠淳澄・野呂靖・亀山隆彦編，法蔵館，2020年2月。叢書14『大谷光瑞の構想と居住空間』三谷真澄編，法蔵館，2020年3月。叢書15『日本仏教の展開とその造形』道元徹心編，法蔵館，2020年3月。叢書16『最古の世界地図を読む—『混一疆理歴代国都之図』から見る陸と海—』村岡倫編，法蔵館，2020年3月。叢書17『国際社会と日本仏教』楠淳澄・中西直樹・嵩満也編，丸善出版，2020年1月。

文化講演会シリーズ

【2016年度】シリーズ1『回峰行と修験道—聖地に受け継がれし伝灯の行—』楠淳澄編，法蔵館，2016年10月

【2017年度】シリーズ2『「世界」へのまなざし—最古の世界地図から南方熊楠・大谷光瑞へ—』三谷真澄編，法蔵館，2017年12月

【2019年度】シリーズ3『修二会 お水取りと花会式—聖地に受け継がれし伝灯の法会—』楠淳澄編，法蔵館，2020年1月。シリーズ4『比叡山の仏教と植生』道元徹心編，法蔵館，2020年3月

国際シンポジウム

【2015年度】

1. テーマ：多文化共生社会における宗教間対話（Inter-faith Dialogue）

■開催日時：2015年12月14日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館ホール ■総合司会：那須英勝（龍谷大学）

《午前の部・討論会》テーマ：宗教多元論（religious pluralism）の理論の実践論的再検討

■報告者：大來尚順（仏教伝道協会）、アレック・ラメイ（上智大学言語教育研究センター）、東馬場郁生（天理大学）

■レスポデント：小原克博（同志社大学）、高田信良（龍谷大学）

《午後の部・基調講演》

■報告者・報告題目：ダンカン・ウィリアムズ（南カリフォルニア大学）“Religious Diversity behind Barbed Wire: Japanese American Buddhism and Christianity in the WWII Incarceration Camps in the U.S”

■コメンテーター：高田信良、守屋友江（阪南大学） ■参加者：106人

【2016年度】

2. テーマ：Shin Buddhism, Christianity, and Islam: Conversations in Comparative Theology

■開催日時：2017年2月15日（水）～17日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎清風館 B102

■報告者・報告題目：

《1日目：公開講演会》テーマ「宗教多様性をどう理解するか？—ギフォードレクチャーを終えて—」

ベリー・シュミット・ルンケル（2015年度ギフォードレクチャー講演者）「宗教多様性のフラクタル的解釈」

小布施祈恵子（神戸市立外国語大学）「仏教徒とムスリムの相互認識—日本仏教からの視座を中心に—」

《2日目：Workshop》[First Session: Buddha's Teaching, Revelation, Logos] Dennis Hirota (Ryukoku University), Imtiyaz Yusuf (Mahidol University), Perry Schmidt-Leukel (Münster University). [Second Session: Universality and Exclusivism] Mitsuya Dake (Ryukoku University), Junya Shinohe (Doshisha University), Peter Phan (Georgetown University)

《3日目：Workshop》[Third Session: Myth and History] David Matsumoto (Institute of Buddhist Studies), Maria Dakake (George Mason University), James L. Fredericks (Loyola Marymount University). [Fourth Session: Amida, Allah, Trinity] Eisho Nasu (Ryukoku University), Elif Emrahmetoglu (Münster University), Bernhard Nitsche (Münster University)

■参加者：90人 ■共催：Münster University, Georgetown University

【2017年度】

3. テーマ：南都学・北嶺学の世界—法会と仏道—

■開催日時：2017年6月3日（土）～4日（日） ■場所：法相宗大本山薬師寺

■報告者・報告題目：

《1日目》

[第1部：法会と論義] 永村眞（日本女子大学）「中世南都諸寺の法会—講説・論義・打集を中心に—」 楠淳澄（龍谷大学）「法相論義と仏道—「一仏帰依」か「多仏帰依」か—」 〈法会実演〉薬師寺衆僧 薬師寺伝灯の法会。

[第2部：法会の空間] ニールス・グェルベルク（早稲田大学）「法会と講式—南都・北嶺の講式を中心として—」 フレデリック・ジラルール（フランス極東学院）「法会と芸能—鴨長明、道元における月講式、三界唯心、月の和歌—」 藤井恵介（東京大学大学院教授）「法会と仏堂」

〈討論会〉コーディネーター：楠淳澄、登壇者：永村眞、ニールス・グェルベルク、フレデリック・ジラルール、藤井恵介

《2日目》

[第3部：僧の生活と持律] ポール・グローナー（ヴァージニア大学）「13・4世紀の天台円頓戒に関する論義—実導

仁空を中心に― 養輪顕量（東京大学大学院）「南都の戒律―中世復興から現代を考える―」 玉木興慈（龍谷大学）「親鸞と戒律―無戒名字の比丘―」

〔第4部：東日本大震災と仏教―仏道の現代的意義―〕

〈基調報告〉大谷徹煇（法相宗大本山薬師寺執事）「今、仏教に何ができるか―被災地をめぐって―」

〈討論会〉コーディネーター：若原雄昭（龍谷大学教授），登壇者：金澤豊（龍谷大学世界仏教文化研究センター），安部智海（浄土真宗本願寺派総合研究所），高見昌良（天台宗務庁社会部社会課），森本公穰（華嚴宗大本山東大寺）

■参加者：191名（両日合計） ■共催：法相宗大本山薬師寺

4. テーマ：悪と自己意識（Evil and Self-Awareness）

■開催日時：2017年7月12日（水）～14日（金） ■場所：ミュンスター大学

■報告者・報告題目：

《1日目：Public Lectures》Prof. Imtiaz Yusuf (Mahidol University, Bangkok) “Buddhism, Islam and Politics in South- and Southeast Asia.” Prof. Mouhanad Khorchide (Muenster University) “Islam and Inter-Faith Relations.”

《2日目：Research Meetings》

[Session 1: Karmic Evil (悪業 *akugō*), Sin, Suffering, and Predestination] A Shin-Buddhist Perspective: Eisho Nasu; A Muslim Perspective: Imtiaz Yusuf; A Christian Perspective: James Fredericks; Responses by Nasu, Yusuf, Fredericks; Replies to Responses; General discussion

[Session 2: Practice (行 *gyō*), Prayer, and Transformation] A Shin-Buddhist Perspective: Dennis Hirota; A Muslim Perspective: Maria Dakake (via Skype); A Christian Perspective: Perry Schmidt-Leukel; Responses by Hirota, Dakake, Schmidt-Leukel; Replies; General discussion

《3日目：Research Meetings》

[Session 3: Repentance and Forgiveness, Aspiration and Hope] A Shin-Buddhist Perspective: David Matsumoto; A Muslim Perspective: Mouhanad Khorchide; A Christian Perspective: Peter Phan; Responses by Matsumoto, Khorchide, Phan; Replies; General discussion

[Session 4: The Nature of Human Existence] A Shin-Buddhist Perspective: Mitsuya Dake; A Muslim Perspective: Junya Shinohe; A Christian Perspective: Bernhard Nitsche; Responses by Dake, Shinohe, Nitsche; Replies; General discussion

Reflection on the conference, opened up by a statement by Leo Lefebure

■参加者：70人（1日目），40人（2日目），35人（3日目） ■共催：ミュンスター大学，ジョージタウン大学

5. テーマ：仏教と自死に関する国際シンポジウム

■開催日時：2017年11月9日（木）～10日（金） ■場所：浄土真宗本願寺派伝道院，龍谷大学響都ホール

■報告者・報告題目：

《1日目》（※関係者のみ）

〔第1部：自死・自殺をめぐる課題の共有にむけて〕村澤孝子（京都府精神保健福祉総合センター）「関西における自死の現状と課題」 野呂靖（龍谷大学）「日本における〈自死〉・〈自殺〉用語の用例と自殺観の変遷」 NPO 法人京都自死・自殺相談センター「研修方法の紹介―相談団体の事例より―」

〔第2部：日本における宗教者の自死に関する活動―その現状と課題―〕関本和弘（融通念仏宗，自死に向き合う関西僧侶の会，NPO 法人大阪自殺防止センター），リメンバー名古屋自死遺族の会，竹本了悟（浄土真宗本願寺派総合研究所，NPO 法人京都自死・自殺相談センター）

〔第3部：海外における宗教者の自死に関する活動〕釋慧開（佛光山，南華大學學術副校長），ボーダナンダ（ミト

ル・ミツロ運動, 青少年リハビリセンター創業者), ジンジ・ウリングハム (ウパーヤ禅センター, 病院チャップレン, 精神医療医)

《2日目》(※一般公開)

〈基調講演〉佐々木閑 (花園大学) 「仏教は自死・自殺にどう向き合うか」

〈提言〉小川有閑 (大正大学地域構想研究所・BSR 推進センター), 野呂靖, イレーヌ・ユージェン (米国ナローパ佛教大学) ※コーディネーター: 岡野正純 (孝道教団)

〈声明文の発表〉ジョナサン・ワッツ (孝道教団・国際仏教交流センター), 竹本了悟

■参加者: 57人 (9日), 128人 (10日) ■共催: 浄土真宗本願寺派総合研究所, 孝道教団・国際仏教交流センター (IBEC), 曹洞宗総合研究センター, 大正大学地域構想研究所・BSR 推進センター, 教団附置研究所懇話会自死部会, 自死に向き合う関西僧侶の会, NPO 法人京都自死・自殺相談センター

6. テーマ: 日印交流における仏教

■開催日時: 12月23日 (土) ■場所: 龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者・報告題目:

〈公開講演会〉小島裕子 (国際仏教学大学院大学) 「大仏を開眼した菩提僊那 (ボーディ・セーナ) — 日本文化の中に構築された「インド」 —

〈研究報告〉Minowa, Kenryo (東京大学) “Longing for India: Japanese Buddhist and India”

Dake, Mitsuya (龍谷大学) “Japanese Buddhists Views of India Seen in the Magazine Bukkyokaigaijijo (1888-1893)”

Okuyama, Naoji (高野山大学) “Japanese Buddhists in Recovery Movement of the Bodh Gaya Temple After 1891: The role of Shaku Kōzen and the Shingon Sect”

Tomas Newhall (東京大学) “From ‘bongaku’ 梵学 to ‘indo tetsugaku’ 印度哲学: The Development of Indology at Japanese Universities”

Nohnin, Masaaki (龍谷大学) “Otani Kozui and India: Seeking the Origin of the Eastward Spread of Buddhism”

Ranjana Mukhopadhyaya (デリー大学) “Proselytizing in the ‘Western Paradise’: India in the making of Fujii Nichidatsu and Nipponzan Myohoji”

Okamoto Yoshiko (国際基督教大学アジア文化研究所) “A Dream of an Asian Religious Conference: Japan-India Cultural Interaction behind the Journey of Okakura Kakuzo, Oda Tokuno and Hori Shitoku to India”

Bessho, Yusuke (駒澤大学) “Buddhist Heritages Development Assistance as Present-day India-Japan Friendship: By Comparison to JICA, APECF and FPMT”

Sato Ryojyun (大正大学) “Indian Deities of Buddhism and Hinduism in Japan”

Funahashi, Kenta (龍谷大学) “Development of Buddhist Conversion Movements in Contemporary India: The View from Local and Global”

Togawa, Masahiko (東京外国語大学) “Living with Gandhi: Fujii Gurji and India-Japan Relations in the 1930s”

■参加者: 30人 ■共催: 東京外国語大学 AA 研・日本学術振興会二国間交流事業 (JSPS-ICHR), 龍谷大学・南アジア研究センター (RINDAS) / 世界仏教文化研究センター (RCWBC), 東京外大 AA 研・基幹人類学班, Samutthan Foundation, New Delhi

【2018年度】

7. テーマ: 日本仏教と論義

■開催日時: 2018年5月12日 (土) ~13日 (日) ■場所: 龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室, 東翼302

■報告者・報告題目:

《1日目: 研究発表会》(※アジア仏教文化研究センター主担当)

西山良慶 (龍谷大学大学院) 「法相論義の研究—論義「転換本質」における神通不思議論の展開—

高田悠 (龍谷大学) 「凝然門下における非情成仏義の展開」 別所弘淳 (大正大学) 「東密の論義—主に新義の論義を中心に—」 ザイレ暁映 (法相宗大本山興福寺) 「儀礼としての法相論義—口頭論義の分類・構成・意義—」

■司会：亀山隆彦（龍谷大学世界仏教文化研究センター）

《2日目：シンポジウム》（※世界仏教文化研究センター主担当）

〈基調講演〉ジャン=ノエル・ロベール（コレージュ・ド・フランス）「宗教思想の原型としての論義」

〈講演〉楠淳澄（龍谷大学）「法相論義と仏道—仏性義の展開と一闡提の会通—」 蓑輪頭量（東京大学大学院）「『法勝寺御八講問答記』に見る戒律論義」 苔米地誠一（大正大学）「論義の歴史と真言宗」

〈パネルディスカッション〉コーディネーター：阿部泰郎（名古屋大学） パネリスト：ジャン=ノエル・ロベール，楠淳澄，蓑輪頭量，苔米地誠一

■参加者：142人（両日合計） ■共催：名古屋大学人文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究センター，龍谷大学世界仏教文化研究センター

8. テーマ：Shin Buddhism, Christianity, and Islam: Conversations in Comparative Theology

■開催日時：2018年6月26日（水）～29日（金） ■場所：ジョージタウン大学

■報告者：

Eisho Nasu (Ryukoku University) “Amida’s Directing of Virtue and Its Moral Implications in Shin Buddhist Faith and Practice”

Mitsuya Dake (Ryukoku University) “Shinran’s Idea of Realization in Shinjin and Nembutsu”

Dennis Hirota (Ryukoku University) “The Real is Transformative Dynamic: Shinran’s Concept of Jinen”

〈公開講演会〉

Dennis Hirota (Ryukoku University) “Learning from Others: Engaging the Shin Buddhist Path in the Contemporary World”

■参加者：40人 ■共催：ミュンスター大学，ジョージタウン大学

9. テーマ：写本時代のシルクロード

■開催日時：2018年8月22日（水） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者・報告題目：

[第1部：シルクロード・写本・伝播] 榮新江（北京大学）「写本の路としてのシルクロード」 王振芬（旅順博物館）「旅順博物館と大谷文庫」 朱玉麒（北京大学）「トゥルファン文書中の北館厨牒流伝史」

[第2部：シルクロード・写本・歴史] 孟憲實（中国人民大学）「敦煌・トゥルファン出土の「王言」について」 劉子凡（中国社会科学院）「シルクロードにおける弓月城と弓月道」

[第3部：シルクロード・写本・仏教] 三谷真澄（龍谷大学）「中央アジア出土漢字仏典断片目録について」 宋成春（旅順博物館）「旅順博物館所蔵仏典断片に関する調査と分析」

史睿（北京大学古代史研究センター）「シルクロード出土写経の書体による年代判定の研究」

[第4部：シルクロード・写本・文芸] 游自勇（首都師範大学）「シルクロードにおける『百怪圖』」

段真子（中国人民大学）「中国国家図書館蔵写本『八相變』三点の関係について」

岸田悠里（龍谷大学）「敦煌莫高窟と「仏母下天」」

■司会：三谷真澄 ■通訳：李曼寧（龍谷大学世界仏教文化研究センター），魏藝（BARC），韋傑（龍谷大学）

■参加者：57人 ■共催：龍谷大学世界仏教文化研究センター西域総合研究班

10. テーマ：大谷光瑞師の構想と居住空間

■開催日時：2018年10月6日（土） ■場所：龍谷大学大宮学舎東翼101

■報告者・報告題目：

〈基調講演〉入澤崇（龍谷大学）「大谷光瑞師のめざしたこと」

〈学術発表〉陳祖恩（上海東華大学）「光瑞師と上海別院・無憂園」 黄朝煌（国立高雄大学前研究員）「台湾・逍遙

園と修復事業」 イムレ・ガランボス（イギリス・ケンブリッジ大学）「欧州における大谷光瑞師の構想と居住空間」
 エルダール・キュチュキュアルチュン（ボアジチ大学）「トルコにおける大谷光瑞師の構想と農業」
 菅澤茂（工学院大学）「大谷光瑞の建築観について—その生涯に亘る建築家との関わりから考察する—」
 和田秀寿（龍谷ミュージアム）「二楽荘と神戸大港都構想論—大谷光瑞師がめざした神戸への思い—」
 市川良文（龍谷大学）「管見三夜荘」 柴田幹夫（新潟大学）「中国における大谷光瑞師の動向」 加藤斗規（別府大
 谷記念館）「旅順大谷邸」と「大連浴日荘」 掬月誓成（別府大谷記念館）「別府・観光都市計画と晩年の大谷光瑞師」
 ■コメンテーター：白須淨眞（広島大学）、片山章雄（東海大学）、松居竜五（龍谷大学）
 ■参加者：160人 ■共催：龍谷大学世界仏教文化研究センター西域総合研究班 ■協賛：京都府

11. テーマ：文献学上の持律生活と現在の持律生活

■開催日時：2018年11月24日（土） ■場所：龍谷大学大宮学舎東翼302
 ■報告者・報告題目：
 [第1部：パリー律文献学からみた持律生活] 佐々木閑（花園大学）「律蔵の意義と理念」 李慈郎（東国大学校）「パ
 ーリ律から見る女性出家者の生活」 岩田朋子（龍谷ミュージアム）「律蔵に説かれる仏弟子のすがた」
 [第2部：現代の僧院生活]
 Gyana Ratna（チッタゴン大学）「バングラデシュにおける僧侶の生活と社会」 藏本龍介（東京大学東洋文化研究所）
 「現代ミャンマーの僧院生活—律を生きる出家者たち—」 飯國有佳子（大東文化大学）「ミャンマーにおける女性
 修行者の出家生活と律」
 [第3部：討論会] 司会者：蓑輪顕量（東京大学大学院） 登壇者：佐々木閑、李慈郎、岩田朋子、Gyana Ratna、藏
 本龍介、飯國有佳子 ■司会：大谷由香（龍谷大学） ■参加者：62人

12. テーマ：日本仏教の展開とその造形 (Medieval Japanese Buddhist Practices and Their Visual Art Expressions)

■開催日時：2019年1月18日（金）～19日（土） ■場所：ハーバード大学ライシャワー日本研究所
 ■報告者・報告題目：
 《1日目》[Panel 1: Prince Shōtoku Worship and Its Artistic Traditions]
 吉田一彦（名古屋市立大学）「天皇代理者への崇拝：聖徳太子信仰の成立とその特質」
 Paul Groner (University of Virginia) “Reflections on the Movement to Revive the Precepts in Kamakura Japan: with a focus on
 Eison’s *Chōmonshū*”
 瀬谷愛（東京国立博物館）「法隆寺東院舍利殿の美術と中世律宗」
 Discussant: Melissa McCormick (Harvard University)
 [Panel 2: Harvard Museum Sedgewick Shōtoku Taishi at Age Two and Its Surroundings]
 Julia Cross (Harvard University) “Hokkeji Nuns, Relic Worship, and Misappropriation in Medieval Japan”
 Rachel Saunders (Harvard Art Museum) “Looking from the Inside Out: The Sedgewick Shōtoku Taishi at Age Two”
 Angela Chang (Harvard Art Museum) “A Technical Study of Prince Shotoku at the Harvard Art Museums: A Modern Look at the
 Materiality of the Sculpture and its Contents”
 Discussant: Daniel Borengasser (Harvard University)
 《2日目》[Panel 3: Buddhism of Nara Buddhist Temples, Buddhism of Mount Hiei and Surrounding Tendai Temples]
 道元徹心（龍谷大学）「千観撰『法華三宗相對抄』に関する諸問題」
 藤丸要（龍谷大学）「凝然教学の諸問題」
 Samuel Morse (Amherst College) “Artistic Competition and Kamakura Sculpture—Tōdaiji, Kōfukuji, and the Rengeō-in”

楠 淳澄 (龍谷大学) 「貞慶の「法然浄土教批判」の特色—魔界法滅をめぐる—」

Discussant : Mikael Bauer (McGill University)

[Panel 4: Development of Medieval Japanese Esoteric Buddhism and Its Art]

Fabio Rambelli (UC Santa Barbara) “Cosmic Sound, Emptiness, and the Path to the Pure Land: Buddhist Conceptualization of Music in Japanese Gagaku”

佐藤もな (帝京高等看護学院) 「大日如来とは何か—三点説を中心として—」

上島亭 (京都大学) 「密教修法の構成と特質と中世社会—孔雀経法を通して—」

Sherry Fowler (University of Kansas) “Collective Commemoration: Kannon Print Scrolls from the Saigoku Pilgrimage”

Discussant: Jesse Lefebvre (Harvard University)

[Panel 5: Interaction between Esoteric Buddhism and Pure Land Buddhism]

北澤菜月 (奈良国立博物館) 「浄土教の造形世界」

Aaron Proffitt (University at Albany, SUNY) “Rethinking Exo-Esoteric Pure Land Buddhism”

Evan Shea Ingram (Chinese University of Hongkong) “Chōgen’s Vision of Tōdaiji’s Great Buddha as Both Mahāvairocana and Amithābha”

Discussant: Robert Rhodes (Otani University)

■参加者：24人 ■共催：ハーバード大学ライシャワー日本研究所

【2019年度】

13. テーマ：東アジア仏教思想史の構築—凝然・明恵と華嚴思想—

■開催日時：2019年12月14日(土)～15日(日) ■場所：龍谷大学大宮学舎東翼302

■報告者・報告題目：

《1日目：凝然と東アジア仏教》

〈特別講演〉横内裕人(京都府立大学)「鎌倉中期の対外関係と宗教環境—宋仏教の移入と相克—」

〈午前の部〉張文良(中国人民大学)「中国における凝然仏教思想の受容—中国仏教宗派説を中心に—」 岡本一平(慶應義塾大学)「示観房凝然の浄土教史論—東アジア仏教思想史の構築に向けて—」

〈午後の部〉王頌(北京大学)「凝然の「十世隔法異成門」解釈」 成昊官(東国大学校)「凝然の五教章通路記における智儼引用について」 朴普藍(忠北大学校)「凝然の六相説の理解について」 中西俊英(東大寺華嚴学研究所)「「初発心時便成正覚」の思想史的考察—凝然の解釈の位置づけを中心に—」 藤丸要(龍谷大学)「華嚴観法と凝然」 大谷由香(龍谷大学)「東アジアにおける南山宗教義の趨勢と凝然」

《2日目：明恵と東アジア仏教》金天鶴(東国大学校)「明恵の『解脱門義』における信と住の関係」 野呂靖(龍谷大学)「明恵の成仏義解釈とその周辺—義天版章疏の影響関係を中心に—」 前川健一(創価大学)「『明恵上人行状』の中の明恵像」 西谷功(泉涌寺心照殿)「明恵撰『涅槃講式』成立の背景—俊苒請来の宋代涅槃儀礼の視点から—」

■司会：藤丸要, 野呂靖, 亀山隆彦(龍谷大学非常勤講師, BARC 博士研究員) ■参加者：80人 ■共催：東国大学校仏教文化研究院HK 研究団, 中国人民大学仏教與宗教学理論研究所, 中央人民大学哲学與宗教学学院, 龍谷大学世界仏教文化研究センター

国内シンポジウム

【2016年度】

1. テーマ：南都学・北嶺学の構築に向けて—論義と儀礼—

■開催日時：2016年6月3日(金) ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■報告者・報告題目：

〈基調講演〉上島享（京都大学大学院）「古代・中世における論義法会の歴史変遷とその意義—朝廷と南都・北嶺の論義法会—」

〈研究発表〉藤平寛田（天台宗典編纂所）「天台の論義」 蜷川祥美（岐阜聖徳学園大学）「法相の論義」

■参加者：189人

【2017年度】

2. テーマ：日本浄土教の特質と多様性

■開催日時：2017年10月9日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■報告者・報告題目：

〈基調講演〉平雅行（京都学園大学）「浄土教における顕密仏教と専修念仏—浄土教史の再構築をめざして—」

〈パネル発表〉川添泰信（龍谷大学）「法然と親鸞の師弟観」 中川修（龍谷大学）「専修念仏が提起する二・三の問題」 楠淳澄（龍谷大学）「法相宗貞慶の浄土教思想の特色」 安達俊英（知恩院浄土宗学研究所）「法然浄土教と本覚思想—歴史的意義と現代的意義—」

■パネルディスカッションコーディネーター：玉木興慈（龍谷大学） ■総合司会：高田文英（龍谷大学）

■参加者：148人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所

3. テーマ：仏教×社会福祉問題=∞

■開催日時：2017年10月31日（火） ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■報告者・報告題目：清水道子（保護司，浄土真宗本願寺派真光寺）「保護司活動を通して」 松島靖朗（特定非営利活動法人おてらおやつクラブ）「「お寺の社会福祉活動」を支えるもの—おてらおやつクラブの現場から—」 石川到覚（大正大学）「仏教のボランティアリズムとソーシャルワーク」

■ファシリテーター：長上深雪（龍谷大学） ■参加者：35人 ■共催：龍谷学会 ■協力：日本仏教社会福祉学会，特定非営利活動法人JIPPO，特定非営利活動法人おてらおやつクラブ

【2019年度】

4. テーマ：宗教文化遺産を探る・記す・保つ—宗教テキスト・アーカイヴス学術共同体の創成と実践—

■開催日時：2020年2月23日（日） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者・報告題目：阿部泰郎（龍谷大学）「趣旨説明：地域における宗教テキスト文化遺産探査研究の現在」

小池淳一（国立歴史民俗博物館）「文字資料の歴史民俗学的探究—会津の聖教・典籍調査から—」

瀬谷貴之（神奈川県立金沢文庫）「金沢文庫特別展と称名寺聖教—運慶・聖徳太子・貞慶—」

大河内智之（和歌山県立博物館）「宗教文化遺産の維持・共有と地域社会—和歌山の事例から—」

■コメンテーター：近本謙介（名古屋大学） ■司会：阿部泰郎 ■参加者：16人

学術講演会

【2015年度】

1. テーマ：『教行信証』の書誌学

■開催日時：2016年2月22日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎清風館B102教室

■報告者・報告題目：赤尾栄慶（国立文化財機構京都国立博物館）「坂東本の成立過程を考える」 宇都宮啓吾（大阪大谷大学）「訓点から見た坂東本」 ■参加者：40人

2. テーマ：華嚴経と毘盧遮那仏

■開催日時：2016年2月28日（日） ■場所：龍谷大学深草学舎和顔館B101 ■総合司会：宮治昭（龍谷大学）

■報告者・報告題目：大竹晋（仏典翻訳家）『華嚴経』一ブツダとその世界一 朴亨國（武蔵野美術大学）「中国・韓国の盧舎那仏・毘盧遮那仏」 肥田路美（早稲田大学）「龍門奉先寺洞盧舎那大仏をめぐって」 ■参加者：77人

【2016年度】

3. テーマ：天台学の世界

■開催日時：2016年5月17日（火） ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■報告者・報告題目：武覚超（叡山学院）「慈恵大師良源から恵心僧都源信への影響」

■司会：道元徹心（龍谷大学） ■参加者：69人

4. テーマ：中世びとの信仰の形態

■開催日時：2016年5月30日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎清風館B101

■報告者：大喜直彦（本願寺史料研究所） ■コメンテーター：杉岡孝紀（龍谷大学）

■参加者：36人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所

5. テーマ：本学所蔵古地図のデジタル修復（混一疆理歴代国都之図の保存のためのデジタル修復・複製）

■開催日時：2016年6月22日（水） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室 ■報告者：岡田至弘（龍谷大学

教授） ■司会：渡邊久（龍谷大学教授） ■コメンテーター：村岡倫（龍谷大学教授） ■参加者：31人

6. テーマ：明恵と高山寺

■開催日時：2016年6月25日（土） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼253教室

■報告者・報告題目：野呂靖（龍谷大学）「明恵と高山寺の教学—宋版『華嚴五教章』の受容をめぐって—」 森實久美子（九州国立博物館）「明恵の釈迦信仰」 伊藤久美（奈良国立博物館）「明恵をめぐる絵巻製作—「華嚴宗祖師

絵伝」を中心に—」 ■総合司会：西谷功（BARC, 泉涌寺宝物館） ■参加者：76人

7. テーマ：親鸞と東国の人々

■開催日時：2016年7月18日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者：今井雅晴（筑波大学） ■総合司会：杉岡孝紀（龍谷大学） ■コメンテーター：川添泰信（龍谷大学）

■参加者：45人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所

8. テーマ：歴史教育の場における『混一疆理歴代国都之図』の役割

■開催日時：2016年7月29日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者：中村和之（函館工業高等専門学校） ■コメンテーター：村岡倫（龍谷大学）

■司会：渡邊久（龍谷大学） ■参加者：25人

9. テーマ：現代仏教の可能性—響き合いに生きる—

■開催日時：2016年9月27日（火） ■場所：龍谷大学深草学舎22号館202

■報告者：丘山新（浄土真宗本願寺派総合研究所） ■参加者：102人

10. テーマ：『歎異抄』の翻訳を通して見た親鸞思想—イスラーム学者の視点から—

■開催日時：2016年10月12日（水） ■場所：龍谷大学大宮学舎北翼204教室

■報告者：アボルガセム・ジャーファーリー（コム宗教大学） ■参加者：85人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所

11. テーマ：玄奘三蔵と法相宗の美術—弥勒信仰と美術—

■開催日時：2016年10月29日（土） ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■報告者・報告題目：打本和音（BARC）「弥勒経典と初期弥勒信仰の美術—ガンダーラから中国北魏へ—」 泉武夫（東北大学大学院）「中国・日本の弥勒信仰とその美術」 北澤菜月（奈良国立博物館）「日本における兜率天曼荼羅

—南都周辺の作例を中心に—」 ■総合司会：西谷功（BARC, 泉涌寺宝物館） ■参加者：53人

■共催：科学研究費助成事業 基礎研究 (B) 課題番号 26284026 「中央アジア仏教美術の研究—釈迦・弥勒・阿弥陀信仰の美術の生成を中心に—」 (代表：宮治昭)

12. テーマ：中国仏教に宗派は本当に存在したのか

■開催日時：2016年11月1日(火) ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■報告者：張文良(中国人民大学教授) ■コメンテーター：長谷川岳史(龍谷大学教授) ■参加者：33人

13. テーマ：高田本『教行証文類』の書誌学

■開催日時：2016年12月5日(月) ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者：清水谷正尊(高田派鑑学, 高田短期大学)

■コメンテーター：杉岡孝紀(龍谷大学) ■参加者：24人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所

14. テーマ：『混一疆理歴代国都之図』研究から見た仏教系世界図検討の課題

■開催日時：2017年1月26日(木) ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者・報告題目：濱下武志(東洋文庫) ■コメンテーター：村岡倫(龍谷大学)

■司会：渡邊久(龍谷大学) ■参加者：15人

15. テーマ：親鸞と『往生要集』

■開催日時：2017年1月27日(金) ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者：高田文英(龍谷大学准教授) ■コメンテーター：玉木興慈(龍谷大学) ■司会：杉岡孝紀(龍谷大学)

■参加者：18人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所

16. テーマ：玄奘三蔵の説話と美術

■開催日時：2017年3月4日(土) ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

■報告者・報告題目：師茂樹(花園大学)「ナラティブとしての玄奘伝—日本古写経にみる玄奘伝の変遷—」 谷口耕生(奈良国立博物館)「中世日本における玄奘三蔵像の受容と展開」 大島幸代(香雪美術館)「玄奘三蔵と護法神」

■総合司会：野呂靖(龍谷大学), 西谷功(BARC, 泉涌寺宝物館) ■参加者：95人

【2017年度】

17. テーマ：レイモン・パニカーと宗教間の対話—クリスチャン・ヒンドゥー・ブディストの立場から—

■開催日時：2017年4月26日(水) ■場所：龍谷大学大宮学舎北翼204

■報告者：ユサ・ミチコ(西ワシントン大学) ■ファシリテーター：那須英勝(龍谷大学)

■参加者：88人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所, 世界仏教文化研究センター

18. テーマ：大谷光瑞研究をめぐる諸問題—旅順博物館開設100周年にあたって—

■開催日時：2017年6月30日(金) ■場所：龍谷大学大宮学舎本館講堂

■報告者・報告題目：王振芬(旅順博物館)「旅順博物館所蔵の仏教文物」 掬月誓成(別府大谷記念館)「大谷光瑞師の都市計画について」 ■ファシリテーター：三谷真澄(龍谷大学) ■参加者：102人

19. テーマ：Mid-century Buddhist Engagements in America: The Berkeley Temple Newsletter 1939-1953

■開催日時：2017年7月3日(月) ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者：Scott Mitchell(米国仏教大学院) ■コメンテーター：釋氏真澄(龍谷大学大学院)

■ファシリテーター：嵩満也(龍谷大学) ■参加者：14人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所

20. テーマ：日蓮の誘法観と阿闍世解釈—親鸞教学との接点を求めて—

■開催日時：2017年7月24日(月) ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者：原慎定(立正大学) ■コメンテーター：杉岡孝紀(龍谷大学)

- 参加者：28人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所
21. テーマ：中世における天台論義書の一系譜—『阿弥陀房抄』を中心に—
 ■開催日時：2017年11月2日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：長谷川裕峰（叡山学院） ■コメンテーター：道元徹心（龍谷大学） ■参加者：14人
22. テーマ：明治印度留学生
 ■開催日時：2017年12月8日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：奥山直司（高野山大学） ■参加者：15人
23. テーマ：親鸞にとっての真実行
 ■開催日時：2017年12月11日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：一楽真（大谷大学） ■コメンテーター：杉岡孝紀（龍谷大学）
 ■参加者：45人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所
24. テーマ：天台・恵心僧都源信と仏教美術
 ■開催日時：2017年12月16日（土） ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール
 ■報告者・報告題目：鯨井清隆（大津市歴史博物館）「天台三山と美術—比叡山延暦寺・園城寺（三井寺）・西教寺—」
 北澤菜月（奈良国立博物館）「恵心僧都源信と浄土信仰の美術」
 ■総合司会：西谷功（BARC, 泉涌寺宝物館） ■参加者：35人
25. テーマ：大谷光瑞師と台湾・逍遙園—その建築空間と修復事業を中心として—
 ■開催日時：2018年1月19日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：黄朝煌（新潟大学） ■参加者：18人
26. テーマ：親鸞にとっての真実心
 ■開催日時：2018年1月22日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：玉木興慈（龍谷大学） ■コメンテーター：高田文英（龍谷大学）
 ■司会：杉岡孝紀（龍谷大学） ■参加者：21人
27. テーマ：現代ミャンマーにおける女性出家者の生活と役割
 ■開催日時：2018年1月26日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階第会議室
 ■報告者：ティサ・ナンディ師（京都大学大学院） ■ファシリテーター：那須英勝（龍谷大学）、川本佳苗（龍谷大学大学院） ■参加者：16人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所、世界仏教文化研究センター
28. テーマ：天台の思想と造形、文化、儀礼
 ■開催日時：2018年3月10日（土） ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール
 ■報告者・報告題目：西谷功（BARC, 泉涌寺）「知られざる宋代天台の儀礼と文化」 久保智康（叡山学院）「天台の教説と造形美術」 ■司会：大谷由香（龍谷大学） ■参加者：35人
- 【2018年度】
29. テーマ：弘法大師空海の伝記の新しい研究法
 ■開催日時：2018年6月14日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎東翼101
 ■報告者：阿部龍一（ハーバード大学） ■司会：藤丸要（龍谷大学） ■参加者：227人
30. テーマ：流転輪廻の面倒さをいかに体現するか—クアア仏教の「解放の神学」を目指して—
 ■開催日時：2018年6月20日（水） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：Bee Scherer（カンタベリー・クライストチャーチ大学, INCISE センター）

- 司会：那須英勝（龍谷大学） ■通訳：川本佳苗（京都大学東南アジア地域研究研究所） ■参加者：20人
31. テーマ：『教行信証』『化身土巻』について一坂東本を通して一
 ■開催日時：2018年7月23日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：三木彰円（大谷大学） ■司会：杉岡孝紀（龍谷大学） ■参加者：23人
32. テーマ：覚如上人と存覚上人の神祇観
 ■開催日時：2018年10月1日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：林智康（龍谷大学） ■司会：杉岡孝紀（龍谷大学）
 ■共催：世界仏教文化研究センター親鸞浄土教総合研究班 ■参加者：23人
33. テーマ：自受用身に関する天台論義から見えるもの
 ■開催日時：2018年11月29日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎東翼101
 ■報告者：大久保良峻（早稲田大学） ■司会：楠淳證（龍谷大学） ■参加者：213人
34. テーマ：戒律の思想と儀礼文化
 ■開催日時：2018年12月15日（土） ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール
 ■報告者・報告題目：西谷功（BARC, 泉涌寺）「東アジアからみた鎌倉時代の戒律復興運動」 大谷由香（龍谷大学）
 「東大寺戒壇上の塔の改変と日本律宗教学」 ■司会：道元徹心（龍谷大学） ■参加者：26人
35. テーマ：古代南都の戒律文化と美術
 ■開催日時：2019年2月9日（土） ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール
 ■報告者・報告題目：真田尊光（川村学園女子大学）「鑑真一行の造像について一将来仏像との関係を踏まえて一」
 内藤栄（奈良国立博物館）「聖武天皇の持戒と正倉院宝物の成立」 ■司会：西谷功（BARC, 泉涌寺） ■参加者：49人
- 【2019年度】
36. テーマ：The Influence of “The Book of the Dead” on Near-death Experiences in the West
 ■開催日時：2019年7月29日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：イェンス・シュリーター（ベルン大学）
 ■講師紹介・通訳：川本佳苗（京都大学東南アジア地域研究研究所） ■参加者：20人
37. テーマ：変容するタイ仏教社会
 ■開催日時：2019年10月17日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：コンカーラトナラク・プラボンサク（タイ国タンマガーイ仏教研究所） ■参加者：30人
38. テーマ：媽祖と観音
 ■開催日時：2019年11月14日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：樊潔兮（潔兮舞団, 莆田学院媽祖研究センター） ■参加者：25人
39. テーマ：密教の思想と美術
 ■開催日時：2020年1月9日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎東翼101
 ■報告者：野口圭也（大正大学） ■コメンテーター：楠淳證（龍谷大学） ■司会：藤丸要（龍谷大学） ■参加者：200人

文化講演会

【2015年度】

1. テーマ：聖地に受け継がれし伝灯の行一修験，回峰行，そして親鸞聖人へ一(1)
 ■開催日時：2015年11月30日（月） ■場所：龍谷大学響都ホール校友会館

- 講師・講題：宮城泰年（聖護院門跡）「修験の修行に学ぶ」 ■参加者：95 人
- 2. テーマ：聖地に受け継がれし伝灯の行—修験，回峰行，そして親鸞聖人へ—(2)
 - 開催日時：2015 年 12 月 7 日（月） ■場所：龍谷大学響都ホール校友会館
 - 講師・講題：光永覚道（北嶺大行満大阿闍梨，延暦寺南山坊）「回峰行のこころ」 ■参加者：169 人
- 3. テーマ：聖地に受け継がれし伝灯の行—修験，回峰行，そして親鸞聖人へ—(3)
 - 開催日時：2016 年 3 月 5 日（土） ■場所：龍谷大学響都ホール校友会館
 - 講師・講題：浅田正博（龍谷大学，浄土真宗本願寺派）「若き日の親鸞聖人—天台修験=回峰行の修行をとおして—」
 - 参加者：168 人

【2016 年度】

- 4. テーマ：世界認識と「アジア」（第 1 回）
 - 開催日時：2016 年 11 月 19 日（土） ■場所：龍谷大学深草学舎和顔館 B201 教室
 - 講師・講題：村岡倫（龍谷大学）『『混一疆理歴代国都之図』から見た「世界」』 ■参加者：21 人
- 5. テーマ：なぜ親鸞思想は超国家主義へと接続したのか
 - 開催日時：2016 年 11 月 28 日（月） ■場所：龍谷大学深草学舎顕真館
 - 講師：中島岳志（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院） ■司会：杉岡孝紀（龍谷大学）
 - 参加者：98 人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所
- 6. テーマ：世界認識と「アジア」（第 2 回）
 - 開催日時：2016 年 12 月 17 日（土） ■場所：龍谷大学深草学舎和顔館 B201
 - 講師・講題：松居竜五（龍谷大学）「南方熊楠と「アジア」」 ■参加者：142 人
- 7. テーマ：世界認識と「アジア」（第 3 回）
 - 開催日時：2017 年 1 月 21 日（土） ■場所：龍谷大学深草学舎和顔館 B201
 - 講師・講題：三谷真澄（龍谷大学）「大谷光瑞の世界認識」 ■参加者：173 人

【2017 年度】

- 8. テーマ：聖地に受け継がれし伝灯の法会（第 1 回）
 - 開催日時：2017 年 11 月 19 日（日） ■場所：龍谷大学響都ホール校友会館
 - 講師・講題：狭川普文（華嚴宗大本山東大寺）「奈良時代から続く不退の行法—東大寺修二会の世界—」
 - 参加者：55 人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所
- 9. テーマ：聖地に受け継がれし伝灯の法会（第 2 回）
 - 開催日時：2017 年 12 月 2 日（土） ■場所：龍谷大学響都ホール校友会館
 - 講師・講題：楠淳澄（龍谷大学）「南都の伝灯法会—仏に成る道—」
 - 参加者：37 人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所
- 10. テーマ：聖地に受け継がれし伝灯の法会（第 3 回）
 - 開催日時：2018 年 1 月 20 日（土） ■場所：龍谷大学響都ホール校友会館
 - 講師・講題：村上太胤（法相宗大本山薬師寺）「薬師寺の伝灯法会—花会式の世界—」
 - 参加者：93 人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所

【2018 年度】

- 11. テーマ：聖地に受け継がれし伝灯の法会（第 4 回）
 - 開催日時：2018 年 10 月 4 日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼 2 階大会議室

■講師・講題：加藤朝胤（法相宗大本山薬師寺）「薬師寺の法会」 ■司会：楠淳澄（龍谷大学） ■参加者：32人

ワークショップ

【2015年度】

1. テーマ：アジア宗教の多様性と日本の仏教

■開催日時：2015年10月22日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者：ジョン・ボーラップ（デンマーク国立オーフス大学）、レネ・キューレ（デンマーク国立オーフス大学）、マリアン・クウォルトルupp・フィビガー（デンマーク国立オーフス大学）、吉永進一（舞鶴工業高等専門学校）

■司会・通訳：那須英勝（龍谷大学） ■レスポネント：高田信良（龍谷大学）、唐澤太輔（龍谷大学世界仏教文化研究センター） ■参加者：22人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所

2. テーマ：「仏教」と「農業」のあいだ—大谷光瑞師のトルコでの動向を中心として—

■開催日時：2015年12月10日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者・報告題目：ヤマンラール水野美奈子（龍谷大学）「大谷光瑞師のトルコにおける二つの殖産事業」 玉井鉄宗（龍谷大学）「農学者・大谷光瑞師の「熱帯農業の奥義」」 三谷真澄（龍谷大学）「仏教者・大谷光瑞師と農業」

■趣旨説明：三谷真澄 ■参加者：40人 ■共催：龍谷大学国際社会文化研究所 ■協力：龍谷大学仏教文化研究所

3. テーマ：自死問題に向き合う仏教者の活動とその理念

■開催日時：2016年2月22日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎清風館3階301・302

■報告者：小川有閑（浄土宗総合研究所）、宇野全智（曹洞宗総合研究センター）、竹本了悟（浄土真宗本願寺派総合研究所） ■司会：野呂靖（龍谷大学）

■参加者：30人 ■共催：教団附置研究所懇話会「自死問題研究部会」、浄土真宗本願寺派総合研究所

4. テーマ：大谷光瑞とチベット—多田等観将来「釈尊絵伝」をめぐって—

■開催日時：2016年2月25日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者・報告題目：宮治昭（龍谷大学）「インドの『舍衛城の神変』図について」 岡本健資（龍谷大学）「舍衛城神変と多田等観将来釈尊絵伝」 岩田朋子（龍谷ミュージアム）「釈尊絵伝にみられる仏弟子たちの物語」 能仁正顕（龍谷大学世界仏教文化研究センター）「阿闍世教化の伝承と釈尊絵伝」

■総合司会：三谷真澄（龍谷大学） ■参加者：34人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所

5. テーマ：Engaged Buddhism, the US and Japan: Past, Present and Future

■開催日時：2016年3月11日（金） ■場所：Jodo Shinshu Center, Conference Room (2nd floor), Berkeley, California

■報告者：Scott Mitchell (Institute of Buddhist Studies), Funie Hsu (San Jose State University and Board Member of the Buddhist Peace Fellowship), Aya Honda (Hyogo University), Mitsuya Dake (Ryukoku University)

■参加者：21人 ■協力：Institute of Buddhist Studies

【2016年度】

6. テーマ：仏教の女性観を考える—ジェンダーの視点から—

■開催日時：2016年6月21日（火） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者・報告題目：岡田真水（真美子）（兵庫県立大学）「女性の成仏について—改転の成仏と即身成仏をめぐって—」 飯島惠道（曹洞宗薬王山東昌寺、花園大学）「ジェンダー不平等な現状に関する報告」

■コメンテーター：桂紹隆（龍谷大学世界仏教文化研究センター）、佐藤智水（龍谷大学世界仏教文化研究センター）

■参加者：78人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所

7. テーマ：英語でブッダ：仏教のグローバル化とその可能性
 ■開催日時：2016年7月8日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：大來尚順（仏教伝道協会） ■コメンテーター：桑原昭信（BARC），川本佳苗（日本学術振興会）
 ■参加者：21人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所
8. 真宗布教近代化の一断面—本願寺派「特殊布教」の成立過程を中心に—
 ■開催日時：2016年8月2日（火） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：中西直樹（龍谷大学）
 ■コメンテーター：嵩満也（龍谷大学） ■参加者：35人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所
9. テーマ：過疎地域における寺院の役割—宗勢基本調査結果が示すこと—
 ■開催日時：2016年10月4日（火） ■場所：龍谷大学大宮学舎清風館 B103
 ■報告者：西光義秀（第10回宗勢基本調査実施センター，奈良県宇陀市万行寺）
 ■コメンテーター：長上深雪（龍谷大学） ■参加者：18人
10. テーマ：現代真宗とジェンダー—教団・寺院・女性—
 ■開催日時：2016年10月27日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者・報告題目：池田行信（浄土真宗本願寺派慈願寺）「私と寺族女性問題」
 横井桃子（関西学院大学）「地域にいきる坊守」 ■コメンテーター：龍溪章雄（龍谷大学），猪瀬優理（龍谷大学）
 ■参加者：31人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所
11. テーマ：近現代の宗教界と公益法人制度—仏教婦人会の法人化を中心に—
 ■開催日時：2016年11月4日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：大澤広嗣（文化庁文化庁宗務課） ■参加者：19人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所
12. テーマ：鈴木大拙夫妻を解読する—研究の現状に関するラウンドテーブル—
 ■開催日時：2016年12月7日（水） ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館3階会議室
 ■報告者：ジェイムズ・ドビンズ（オーバリン大学），リチャード・M・ジャフィ（デューク大学），ジュディス・ス
 ノドグラス（西シドニー大学），ウェイン・ヨコヤマ（花園大学）
 ■司会：吉永進一（舞鶴工業高等専門学校），アリス・フリーマン（オックスフォード大学） ■参加者：22人
13. テーマ：仏教者による社会貢献活動の実態と意義—国内外における人道支援を通して—
 ■開催日時：2016年12月16日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者・報告題目：定光大燈（Dāna International Center 事務局）「ネパール在住のチベット難民の現状とその問題—DICの支援活
 動を通して見えてきたこと—」 雨森慶為（真宗大谷派解放運動推進本部）「野宿生活者との交流」
 ■総合司会：野呂靖（龍谷大学） ■コメンテーター：中村尚司（特定非営利活動法人 JIPPO）
 ■参加者：32人 ■協力：特定非営利活動法人 JIPPO，Dāna International Center，真宗大谷派解放運動推進本部
14. テーマ：障害福祉サービス事業所「わごころ」の取り組み—宗教法人としていかに社会福祉にかかわるか—
 ■開催日時：2017年1月10日（火） ■場所：龍谷大学大宮学舎清風館3階301・302
 ■報告者：芝賢良（宗教法人浄念寺障害福祉サービス事業所わごころ）
 ■コメンテーター：長上深雪（龍谷大学） ■参加者：12人
15. テーマ：仏教者による対人支援の現在
 ■開催日時：2017年2月27日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎清風館3階301・302
 ■報告者：福井智行（自死に向きあう関西僧侶の会），猪智喜（高野山真言宗心の相談員）

■コメンテーター：竹本了悟（BARC，浄土真宗本願寺派総合研究所） ■司会：野呂靖（龍谷大学） ■参加者：9人

【2017年度】

16. テーマ：越境する日本の女性仏教徒

■開催日時：2017年7月17日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室 ■趣旨説明：本多彩（兵庫大学）

■報告者・報告題目：ヴィクトリア・吉村（浄土真宗本願寺派玄武山正念寺）

“Female, Foreign and in the Firing Line: The Adventures of a British female Buddhist Priest in Rural Japan”

パトリシア・宇宿（サンファンンドバレー本願寺仏教会） “Transcending Dichotomy: A Perspective from America”

■コメンテーター：川橋範子（名古屋工業大学） ■ファシリテーター：那須英勝（龍谷大学） ■参加者：40人

17. テーマ：医療と福祉におけるエンゲージドブディズム

■開催日時：2017年8月3日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎清風館 B103

■報告者：木下克俊（臨床宗教師） ■コメンテーター：長上深雪（龍谷大学）

■参加者：24人 ■共催：日本仏教社会福祉学会

【2018年度】

18. テーマ：Shinran and Continental Philosophy（親鸞と大陸哲学）

■開催日時：2018年6月7日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者・報告題目：

Charles Hallisey（ハーバード大学神学大学院） “On the Sources of Morality: Reading Shinran with Jankelevitch and Levinas”

Janet Gyatso（ハーバード大学神学大学院） “Stepping out of the Bracket: Reading Marion for a Buddhist Way of Living with the World” ■レスポデント：嵩満也（龍谷大学），那須英勝（龍谷大学）

■参加者：40人 ■共催：世界仏教文化研究センター国際研究部門

19. テーマ：明治期における高等教育と宗教系学校一学校制度・宗教制度の視点から再考する一

■開催日時：2018年7月13日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者：江島尚俊（田園調布学園大学） ■コメンテーター：龍溪章雄（龍谷大学） ■司会：岩田真美（龍谷大学）

■参加者：24人 ■共催：龍谷大学世界仏教文化研究センター共同研究「高輪仏教大学の研究」（龍溪章雄 研究代表）

20. テーマ：日本仏教と西洋/世界の19世紀

■開催日時：2018年11月2日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者・報告題目：

〈基調講演〉

ハンス＝マルティン・クレマ（ハイデルベルク大学） 「19世紀グローバル宗教史の中の日本仏教—近代的挑戦と浄土真宗—」

〈研究報告〉オリオン・クラウタウ（東北大学） 「明治期における大乘仏説と涅槃論」 長谷川琢哉（親鸞仏教センター） 「受容と抵抗—井上円了と欧米の東洋学・仏教学—」 岩田真美（龍谷大学） 「20世紀初頭における仏教のグローバル・ネットワーク—高輪仏教大学と万国仏教青年連合会を中心に—」

■コメンテーター：吉永進一（BARC，舞鶴工業高等専門学校） ■ファシリテーター：嵩満也（龍谷大学）

■参加者：40人 ■共催：龍谷大学世界仏教文化研究センター共同研究「高輪仏教大学の研究」

21. テーマ：親鸞の鬼神と民俗信仰

■開催日時：2018年12月17日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者：蒲池勢至（同朋大学） ■コメンテーター：川添泰信（龍谷大学） ■司会：杉岡孝紀（龍谷大学） ■参加者：32人

22. テーマ：比叡山の植生とその思想

- 開催日時：2019年1月15日（火） ■場所：龍谷大学大宮学舎清風館3階共同研究室
- 報告者・報告題目：吉田慈順（天台宗典編纂所，龍谷大学）「辰張忌考」 村上明也（BARC）「比叡森林継承プロジェクトが持つ可能性」 ■司会：楠淳證（龍谷大学） ■参加者：29人

セミナー

【2015年度】

1. テーマ：北嶺の論義

- 開催日時：2016年1月14日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
- 報告者・報告題目：〈基調講演〉藤平寛田（天台宗典編纂所）「天台論義の基礎と文献」
〈研究発表〉吉岡諒（2015年度 BARC 公募研究員）「栄西の大師号要請について」 吉田慈順（2015年度 BARC 公募研究員）「報仏常無常を巡る論争」 ■総合司会：藤丸要（龍谷大学） ■参加者：27人

【2016年度】

2. テーマ：薬師寺の法会—花会式と慈恩会を中心として—

- 開催日時：2016年10月13日（木） ■場所：龍谷大学大宮学舎北翼203
- 報告者・報告題目：加藤大覚（薬師寺） ■参加者：16人

3. テーマ：比叡の森を護る

- 開催日時：2017年1月13日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎北翼204
- 報告者・報告題目：磯村良定（延暦寺—山無量院住職）「比叡山—伝教大師の衣の森—」 武円超（延暦寺管理部）
「大師の森を守る—比叡山の森林施業—」 ■コメンテーター：楠淳證（龍谷大学） ■参加者：137人

4. テーマ：論義と仏道—法相・華嚴・天台—

- 開催日時：2017年1月17日（火） ■場所：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール
- 報告者・報告題目：藤丸要（龍谷大学）「華嚴論義の成立と展開」 道元徹心（龍谷大学）「天台論義資料への一視点—千観撰『法華三宗相对抄』・東大寺図書館蔵『天台宗—乗義秘要抄』を手掛かりに—」
- 総合司会：大谷由香（BARC，龍谷大学） ■参加者：44人

【2017年度】

5. テーマ：Compassion in Action: Change towards Better Life

- 開催日時：2017年4月25日（火） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
- 報告者：The Venerable Ananda (Maha Bodhi Society, Bengaluru)
- 参加者：20人 ■共催：龍谷大学南アジア研究センター（RINDAS）

6. テーマ：薬師寺声明の世界—花会式の美—

- 開催日時：2017年7月7日（金） ■場所：龍谷大学深草学舎顕真館
- 実演者：村上太胤（法相宗大本山薬師寺），加藤朝胤（法相宗大本山薬師寺），大谷徹契（法相宗大本山薬師寺）
倍巖良明（融通念仏宗法徳寺），安田契基（法相宗大本山薬師寺），加藤大覚（法相宗大本山薬師寺）
- 解説者：加藤朝胤 ■参加者：215人 ■共催：龍谷大学宗教部

7. テーマ：近代仏教婦人会の諸相

- 開催日時：2017年7月14日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
- 報告者・報告題目：中西直樹（龍谷大学）「近代仏教婦人会の興起とその歴史的意義」 岩田真美（龍谷大学）「小野島行勲の関東開教と上毛婦人教育会」 近藤俊太郎（龍谷大学）「近代大阪における真宗の女子教育—相愛女学校

- 創立をめぐる一」 ■参加者：21人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所，龍谷学会
8. テーマ：日本仏教アジア布教の諸問題
 ■開催日時：2017年7月31日（月） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者・報告題目：中西直樹（龍谷大学）「日本仏教によるアジア布教史概観」 大澤広嗣（文化庁文化政策課）
 「財団法人朝鮮仏教団の留学生派遣と宗教民族学者の金孝敬」 野世英水（龍谷大学）「真宗本願寺派関東別院の活動と終焉」 中西直樹「戦前期日本仏教のシンガポール布教—昭和初期までの本願寺派の動向を中心に—」
 ■ファシリテーター：林行夫（龍谷大学） ■参加者：27人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所，龍谷学会
9. テーマ：近代仏教の時代のすれちがい—戦前，戦中の日本で刊行された仏教雑誌，書籍にみるカンボジア関連記事—
 ■開催日時：2017年11月17日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：笹川秀夫（立命館アジア太平洋大学教授） ■ファシリテーター：林行夫（龍谷大学）
 ■コメントーター：中西直樹（龍谷大学） ■参加者：10人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所
10. テーマ：2017年度第3回セミナー
 ■開催日時：2018年2月24日（金） ■場所：大宮学舎西翼3階小会議室
 ■報告者・報告題目：安藤徳明（2017年度 BARC 公募研究員，淑徳大学アジア国際社会福祉研究所プログラム）
 「タイの仏教寺院における社会福祉機能の実態研究」 神田英昭（高野山真言宗）「タイと日本の仏教は対話できるか？」 ■コメントーター：村上忠良（大阪大学大学院） ■参加者：16人 ■共催：龍谷大学仏教文化研究所
- 【2018年度】
11. テーマ：僧侶たちから見る葬式仏教—宗教人類学と感情—
 ■開催日時：2018年8月1日（水） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：マーク・ロウ（BARC，マクマスター大学）
 ■コメントーター：猪瀬優理（龍谷大学） ■司会：野呂靖（龍谷大学） ■参加者：32人
12. テーマ：日本とタイの仏教交流の諸局面(1)
 ■開催日時：2018年7月20日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者・報告題目：藤本晃（浄土真宗誓教寺）「スリランカ=タイの上座仏教と日本仏教」
 ■司会：林行夫（龍谷大学） ■参加者：30人 ■共催：世界仏教文化研究センター真宗史・仏教史総合研究班，龍谷学会
13. テーマ：日本とタイの仏教交流の諸局面(2)
 ■開催日時：2018年7月27日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎東翼302教室
 ■報告者・報告題目：清水洋平（大谷大学）「経典をめぐる交流の史実と現実」
 ■司会：林行夫（龍谷大学） ■参加者：23人 ■共催：世界仏教文化研究センター真宗史・仏教史総合研究班，龍谷学会
14. テーマ：僧院とはなにか—ミャンマー都市部を事例として—
 ■開催日時：2018年9月21日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者：藏本龍介（東京大学東洋文化研究所）
 ■司会：林行夫（龍谷大学） ■参加者：30人 ■共催：世界仏教文化研究センター真宗史・仏教史総合研究班，龍谷学会
15. テーマ：日本とタイの仏教交流の諸局面(3)
 ■開催日時：2018年10月12日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室
 ■報告者・報告題目：
 矢野秀武（駒澤大学）「仏教のアジア布教・伝播の多面性—タイのタンマガーイ（Thammakai）を中心に—」
 ■司会：林行夫（龍谷大学） ■参加者：31人 ■共催：世界仏教文化研究センター真宗史・仏教史総合研究班，龍谷学会

16. テーマ：ビルマと日本の仏教交流

■開催日時：2018年11月16日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者：伊東利勝（愛知大学） ■司会：林行夫（龍谷大学）

■参加者：22人 ■共催：世界仏教文化研究センター・真宗史・仏教史総合研究班，龍谷学会

17. テーマ：上座部はなぜそう呼ばれるのか？—近代における「大乘仏教」と「上座部仏教」の誕生—

■開催日時：2019年1月25日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者：馬場紀寿（東京大学東洋文化研究所） ■司会：林行夫（龍谷大学）

■参加者：30人 ■共催：世界仏教文化研究センター・真宗史・仏教史総合研究班，龍谷学会

【2019年度】

18. テーマ：仏教交流の実相への視座—タイと日本の関係より—

■開催日時：2019年10月11日（金） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者：村上忠良（大阪大学） ■司会：林行夫（龍谷大学） ■参加者：24人

19. テーマ：日本と東南アジアの仏教交流

■開催日時：2020年1月24日（金）～25日（土） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者・報告題目：

《1日目》中西直樹（龍谷大学）「明治期日本人僧侶の暹羅布教」 林行夫（龍谷大学）「石井米雄と日タイ仏教交流」

神田英昭（高野山真言宗）「タイ仏教と日本仏教は対話できるのか？—タイ仏教への掛け橋になる—」

清水洋平（大谷大学 真宗総合研究所）「仏教経典をめぐる日タイ交流の史実と現実」

《2日目》伊東利勝（愛知大学人文社会学研究所）「日本とミャンマーの仏教交流にみる「国家と宗教」」

藤本晃（浄土真宗誓教寺）「仏教の交流、比丘サンガの交流」

大澤広嗣（文化庁宗務課）「宗教法人制度と東南アジア系の仏教団体」

■コメンテーター：小林知（京都大学），村上忠良（大阪大学），金澤豊（龍谷大学） ■参加者：29人

20. テーマ：親鸞における本地垂迹と神祇不拝

■開催日時：2020年1月29日（水） ■場所：龍谷大学大宮学舎西翼2階大会議室

■報告者：佐藤弘夫（東北大学）

■コメンテーター：杉岡孝紀（龍谷大学） ■ファシリテーター：玉木興慈（龍谷大学） ■参加者：35人

以上のように、アジア仏教文化研究センターでは、17回にのぼるシンポジウム（国際・国内）、50回にわたる講演会（学術・文化）、42回に及ぶワークショップ・セミナーを初めとして多種多彩な研究活動を展開し、書籍に関しては研究叢書17点、文化講演会シリーズ4点を世に送り出してまいりました。

本研究プロジェクトでは、日本仏教を世界的・歴史的・現代的視点より総合的に検証し、日本仏教の持つ多文化共生社会における課題と展望を明らかにすべく、設置した2グループ・4ユニットをさらに細分して9つのサブユニットを立て、計46名の研究員と10名の研究協力者を組織し、鋭意、研究を進めてまいりました。その成果が順次、上記のようなシンポジウムや研究叢書等になりました。これらの成果を受け、BARCで5年間の研究成果を総轄した書籍として刊行したのが、叢書17『国際社会と日本仏教』（丸善出版、2020年）でした。

仏教はもともと、インドから中国・朝鮮半島を経て日本へと伝えられた、国際色豊かな宗教でした。そのような国際色豊かな仏教が日本独自の展開を見せる中で、グローバル化した現代社会において今、国際的にいかなる役割を果たし得るのかという問いかけを念頭におきつつ、その解明のための端緒になればと考え、さまざまな視点から研究・考証してまいりました。これをもって、今後ますます重要となる「多文化共生社会における課題と展望」を検証する一助になればと考えた次第です。今後のさらなる解明を期待しつつ、本研究プロジェクトは本年度をもってひとまず終了といたします。

なお、龍谷大学アジア仏教文化研究センターは、2015年4月に創設された龍谷大学世界仏教文化研究センターの傘下にある研究機関として活動してまいりました。その成果のすべては母体である世界仏教文化研究センターへと引き継がれますので、今後は世界仏教文化研究センターの諸活動に一層のご理解とご支援をたまわりますよう、お願い申し上げます。

以上

令和2年3月31日

龍谷大学アジア仏教文化研究センター
センター長 楠 淳澄